

再会、出会い、そして創造



主催 一般社団法人 Hyper Five

自閉症ネオカンファレンス2026

『地域に根差した実践』

-Community-Based Practice-

2026.11.22(SUN) 11.23(MON)

川崎医療福祉大学 講義棟 (岡山県倉敷市松島288)

定員 950名

7月1日10時
受付開始



Hyper Five



連絡・申し込み先

自閉症ネオカンファレンス2026事務局

特設ホームページ：<http://hyper-five.com>

メールアドレス：hyper.five2024@gmail.com

自閉症ネオカンファレンス 2026

ごあいさつ

自閉症ネオカンファレンス実行委員会は「自閉症ネオカンファレンス」を企画・運営いたします。

日本の自閉症支援を長くけん引されてこられた佐々木正美先生が実行委員長を務められ、2002年から約20年にわたって開催された「自閉症カンファレンスNIPPON」の元実行委員有志が呼びかけ人となり、次世代を担う若手の支援者が加わって、新たに自閉症ネオカンファレンス実行委員会が立ち上がりました。

「自閉症カンファレンスNIPPON」の精神を引き継ぎ、自閉症の正しい理解と優れた支援のスピリッツを学び・共有することを目指し、引き続き、岡山県・川崎医療福祉大学を会場として「自閉症ネオカンファレンス2026」を開催いたします。

今年のメインテーマは「地域に根差した実践」です。
学びの場であることはもちろん、当事者・家族・支援者・関係者が一堂に会し、活発な意見交換・情報交換の場にしていきたいと考えております。

全国各地の皆様との“再会・出会い・そして創造”を合言葉に、多くの方々のご参加をお待ちしています。

2026年7月
自閉症ネオカンファレンス実行委員会

※一般社団法人Hyper Fiveは、ネオカンファレンス開催を願う有志によって立ち上げられた組織であり、本大会の主催法人を担います。

代表 内山登紀夫（福島学院大学・よこはま発達グループ）

副代表 梅永雄二（早稲田大学）・志賀利一（のぞみの園）

実行委員長 諏訪利明（川崎医療福祉大学） 事務局長 中山清司（自閉症eサービス全国ネット）

自閉症ネオカンファレンス2026
実行委員会

榎本太輔（侑愛会）/小田桐早苗（川崎医療福祉大学）/片岡啓（県央福祉会）/河合高鋭（鶴見大学）

桑原綾子（ここはうす）/佐々木康栄（よこはま発達グループ）/高橋幾（山口県立大学）/友村裕子（内日福祉会）

中幡恵太（はるにれの里）/林大輔（たくと大府）/益田麻美（北摂杉の子会）/真船亮（オフィスぼん）

宮武勇気（東京都手をつなぐ育成会）/宮野雄太（相模女子大学）/和田智規（イマジン）

事務局 上村由紀（えんわ）/窪田久美（ここはうす）/矢野志穂（今人倶楽部）

～再会、出会い、そして創造～

AUTISM NEO CONFERENCE2026

11-22 SUN(1日目)

『 地 域 に 根 差 し た 実 践 』
- Community - Based Practice -

※プログラムは場合により内容を変更する場合があります。

11-23 MON(2日目)

～再会、出会い、そして創造～

- ▽休み時間、待ち時間、あるいはセッションの時間も、すべてが参加する皆さんの再会と出会いの機会になります。懇親会も是非、ご参加ください。
- ▽新しい仲間、新しい学び、新しい発想が、あちこちで生まれることを期待しています。一人ひとりが主役になれる“ネオ”カンファレンスを期待しています。

PROGRAM

11-22 SUN(1日目)

メインセッション

サブセッションⅠ

サブセッションⅡ

サブセッションⅢ

9:00	開場・受付
9:50	オープニングセッション
10:00	基調講演 地域に根差した実践 ∞志賀利一
12:00	昼休み・昼食

13:00	パネルディスカッション① いい支援からいい地域へ ∞佐々木康栄 ∞宮野雄太
-------	--

実践報告会① 「行動支援と連携」 ∞報告者4名

基礎からのシリーズ 「学習スタイル」 ∞小田桐早苗 ∞片岡啓

ワークショップ 「冰山モデル」 ∞林大輔 ∞友村裕子

15:20	パネルディスカッション② 地域連携のプロセス ∞真船亮 ∞宮武勇氣
-------	---

16:30 1日目終了

17:00-19:00 懇親会（事前申し込み制）

11-23 MON(2日目)

メインセッション

サブセッションⅠ

サブセッションⅡ

サブセッションⅢ

9:30	開場・受付
10:00	パネルディスカッション③ 地域で働く・就労 ∞小田桐早苗 ∞中幡恵太 ∞益田麻美

実践報告② 「防災と家族連携」 ∞報告者4名

基礎からのシリーズ 「構造化-Structured TEACCHingから学ぶ」 ∞安倍陽子∞和田智規
--

ワークショップ② 「アセスメント」 ∞高橋幾 ∞宮野雄太

12:00 昼休み・昼食

13:00	パネルディスカッション④ 地域で遊ぶ・暮らす ∞当事者の方々 ∞河合高鋭 ∞桑原綾子
-------	---

実践報告③ 「啓発と地域での ユニークな取り組み」 ∞報告者4名

アンダーグラウンド の集り ∞高橋幾∞佐々木康栄 ∞真船亮∞Hyper Five

ワークショップ③ 「自立課題」 ∞林大輔 ∞榎本太輔

15:10	ファイナルセッション 地域に根差した実践 ∞榎本太輔 ∞中幡恵太 ∞片岡啓
-------	--

15:30 閉会

特設ルームⅠ

中継ルーム
メインセッションを
視聴できます

特設ルームⅡ

性教育
コミュニケーション機器
書籍/グッズ紹介と販売

特設ルームⅢ

家族ルーム
感覚アイテム
リラククスコーナー

『地域に根差した実践』 -Community-Based Practice-

メインセッション

▽オープニングセッション (1日目)

実行委員長：諏訪利明よりごあいさつ



▽基調講演

『CBPと自閉症支援の 過去・現在・未来』 (1日目)

(司会 諏訪利明)

地域で根差した実践がどうして注目されるようになったのか。そして現在はどこまで到達しているのか。さらに、今後の自閉症支援はどのような報告にいくのか考えてみましょう。



志賀利一

▽パネルディスカッション①

『支援機関の枠を超えて —いい支援からいい地域へ』 (1日目)

(司会 佐々木康栄/宮野雄太)

地域で具体的に実践する方を招き、本人を支える「理解者」をどう地域に広げ、増やしていくかを議論します。地域のつながりと支援の未来をイメージしていきます。



佐々木康栄



宮野雄太

▽パネルディスカッション②

『地域において多分野・多領域と連携する ための最初の一步』 (1日目)

(司会 真船亮/宮武勇気)

自治体内の多分野・多領域の関係者がQ-SACCSを用いて対話し、現状(良さ・価値)や課題(次の一步)を共有・検討している実践を報告していただきます。参加者のみなさんと共にそれぞれの地域を振り返る機会になれば幸いです。



真船亮



宮武勇気

パネルディスカッションの登壇者につきましては、決定次第、改めてご案内いたします。

▽パネルディスカッション③

『地域で働く・就労』 (2日目)

(司会 小田桐早苗/中幡恵太/益田麻美)

当事者、企業、家族、支援者がそれぞれの視点で登壇し、相互理解を深め、誰もが自分らしく働くための「地域就労」の在り方を共に考えます。



小田桐早苗



中幡恵太



益田麻美

▽パネルディスカッション④

『地域で遊ぶ・暮らす—当事者も交えて』 (2日目)

(司会 河合高鋭/桑原綾子)

自閉症の当事者・家族・支援者のリアルな声を集めます。当事者が何を考え、何を求め、何を大切にして、どのように協働していくかを具体的にイメージします。



河合高鋭



桑原綾子

▽ファイナルセッション

『地域に根差した実践』 (2日目)

(司会 榎本太輔/中幡恵太/片岡啓)

2日間を振り返り、参加された皆さんからのメッセージをまとめ、地域のつながり、明日への支援へとつながる時間となります。



榎本太輔



中幡恵太



片岡啓

※プログラムは、都合により内容を変更する場合があります。

サブセッション

『冰山モデルで考えよう』
(1日目)

運営 林大輔/友村裕子

「行動」を冰山モデルから整理し、より適切な行動への支援を検討します。



林大輔



友村裕子

『自立課題を作ろう』
(2日目)

運営 林大輔/榎本太輔

実際のモデルケースから見立ててアセスメントに基づいて、その人が自立して取り組むことができる自立課題を、実際に作ってみます。



林大輔



榎本太輔

『アセスメント』
(2日目)

運営 高橋幾/宮野雄太

毎年好評のワークショップです。支援現場に役立つアセスメント法を紹介します。当日はアセスメント場面をデモンストレーションしますので、ぜひ、ご参加ください。



高橋幾



宮野雄太

ワークショップ

1日目

『学習スタイル』

自閉症の人たちの「脳の情報処理の仕方の違い」を確認します。自閉症の人たちの学習スタイルに合わせた対応が求められています。



小田桐早苗



片岡啓

“基礎からの”シリーズ

2日目

『構造化-Structured TEACChingから学ぶ』

自閉症の学習スタイルの理解に基づいた構造化支援の考え方と基本的なアイデアを解説します。さまざまな実例について視覚的に紹介します。



安倍陽子



和田智規

『アンダーグラウンドの集まり』

2日目

参加者同士でつながる交流企画です。「日々の実践を話したい」「同じ関心をもつ人と出会いたい」「今悩んでいることを話したい」等のテーマに分かれて、参加者同士が語り合う場を実行委員がファシリテートします。研修会では意外と参加者同士でじっくり話す機会が限られています。本企画では、日々の実践で感じている悩みや工夫、これから取り組んでみたいことなどを気軽に共有し、新たな視点や実践のヒント、同じ関心をもつ仲間とのつながりを得られる場にできればと思っています。新しい出会いの場、今後の再会につながるきっかけの場として、皆様の参加をお待ちしております。

実践報告会

『実践報告会①②③』（1日目、2日目）

全国各地から、現場最前線の取り組みを分科会形式でご報告いただきます。発表を通して見えてくる「地域」をテーマとした自閉症支援について、共有する機会といたします。

なお、1日目の午後より、発表内容に関するポスター掲示（4Fロビー）を実施いたします。質問、ディスカッションは発表前、発表後を問わず、発表者を見かけた際にぜひお声がけください。



ブック&ショップ&ポスターセッション

（出店予定）



- ▽会場内ロビーでは、自閉症関連のグッズの紹介・販売をおこないます。自閉症の人たちも販売スタッフで関わっていただきます。
- ▽ポスターセッションでは、実践報告会の皆さんをはじめ、全国各地の取り組みをポスターで紹介します。今回の講師や実行委員からもポスターセッションに参加していただきますので、直接、質問や意見交換をおこなってください。



～History～

自閉症ネオカンファレンス2024メインテーマ

『多様性のある共生社会を目指して、自閉症の人たちの社会参加を考えます。』

自閉症ネオカンファレンス2025メインテーマ

『みんなで語ろう。自閉症支援のエビデンス』



特設ルーム

▽『家族ルーム』（1日目・2日目） 3603教室

メインセッションを中継し、家族や当事者がくつろぎながら視聴できる部屋を用意します。大勢の中ではちょっと窮屈に感じるという方もぜひどうぞ。立ち歩いたり、ごろんと横になったり、スペースを取って話を聞くことができます。リラククスコーナーや感覚グッズもお使いください。

主催者による託児などの対応は致しません。個々の過ごし方と安全配慮は保護者・パーソナル支援者にてご対応ください。家族ルーム内で事故があった場合、主催者は責任を負いませんのでご承知おきください。

▽『地域に関するメッセージボードの部屋』（1日目・2日目） 3602教室

地域に関するメッセージボードの部屋を設定しました。熱くなった頭をちょっと休めて、学んだことについて振り返るコーナーで、考えたらどんな言葉が浮かんでくるでしょうか？

皆さんのさまざまな声を聞かせてください。疑問・質問・提言・紹介、何でも結構です。最終日のファイナルセッションで報告させていただきます。

▽『自閉症の人の性教育』（1日目・2日目） 3602教室

自閉症の人の性教育の第一人者である平木真由美先生による教材の展示と、平木先生によるワンポイント授業を受けることができます。

▽『書籍販売・グッズ販売』（1日目・2日目） 3602教室

昨年に引き続き、トルルさんによる書籍販売と、関係機関から自閉症関連グッズの紹介・販売をおこないます。

▽『コミュニケーション機器』（2日目） 3602教室

代替コミュニケーションやデジタルアプリの開発と実用化に取り組んでおられる香川大学の坂井聡先生セレクトの機器展です。

▽『中継ルーム』（1日目・2日目） 3601教室

定員増に伴い、メイン会場の様子を視聴できる部屋を設定しました。メイン会場が満員の場合は是非中継ルームをご利用ください。

自閉症ネオカンファレンス 2026

協賛金のお願い

「自閉症カンファレンスNIPPON」の精神を引き継ぎ、全国各地から自閉症の当事者・家族と支援者・専門家が一同に集まり、自閉症の正しい理解と共生社会を見据えた全国規模の会議がネオカンファレンスとなります。

つきましては、誠に恐縮ではございますが、ネオカンファレンスの趣旨をご理解いただき、開催にあたり資金面でご協賛を賜わりたく、ここにお願い申し上げる次第です。

ご協賛の内容につきましては、下記のとおりとさせていただきます。なにとぞよろしく
お願い申し上げます。

-記-

1. 協賛金額 一口1万円（個人、団体を問いません）
2. 募集期間 令和8年7月1日～令和8年11月22日
3. 納入方法 特設ホームページより



銀行振込またはクレジットカードでお願いします

4. 些少ではありますが協賛していただいた方に記念品を贈呈いたします
5. お問合せ先 自閉症ネオカンファレンス事務局（一般社団法人Hyper Five）



【協賛金申し込み】

特設ホームページ：<https://hyper-five.com>

協賛金申し込み：<https://hyper-five.com/sponsorship/input>

メールアドレス：hyper.five2024@gmail.com

自閉症ネオカンファレンス2026 後援団体（2026年7月現在、順不同）

ネオカンファレンス2026の開催にあたり、広報及び当日の運営等について、HP等からの発信や運営スタッフの派遣、備品の提供等で、実質的にサポートしていただける後援団体を募集しています。詳細は、事務局にお問合せください。

- ◆TEACCHプログラム研究会 ◆よこはま発達グループ ◆自閉症eサービス全国ネット
- ◆川崎医療福祉大学

P A R T I C I P A T I N G

定員 950名・先着順

ネオカンファレンス参加費のご案内（先着順）

- ・早割期間（7月1日～8月31日入金済み）＝参加費（2日間）12,000円/人
- ・通常期間（9月1日～11月20日入金済み）＝参加費（2日間）14,000円/人

※インボイス対象業者ではありませんので、あらかじめご了承ください。

※領収証は、当日のロビーに設置するものをお持ち帰りください。

※7月1日より受付を開始します。家族同伴の小・中学生と未就学児の参加費は無料です。

懇親会のご案内（事前申込制、先着順）

11月22日(日) 17:00-19:00 川崎医科大学附属病院8階「榊の木」 定員100名

参加費：8,500円/人 小・中学生：3,500円/人 未就学児：無料

立食形式ビュッフェスタイルです。小・中学生用の食事を別途ご用意します。

ネオカンファレンスの参加者限定です。懇親会のみでの参加はできません。

ホテル・駐車に関するご案内

ホテルは各自でお早めに予約をお願いします。大学までは公共交通機関をご利用ください。大学には駐車場はありますが有料となります。大学内に無料で駐車できるようなスペースがありますが、そこは申請がなければ停められませんのでご注意ください。

その他のご案内

会場には下足でご入場いただけることになっています。スリッパのご持参は必要ありません。昼食は各自でご用意ください。大学構内で食べていただくことができます。ごみの持ち帰りをお願いいたします。

申し込み方法

特設ホームページからお申込みください。定員になり次第締め切ります（先着順）。

参加費の入金確認後、受講決定メールをお送りします。

参加費入金後にキャンセルをされても返金は致しかねますので、ご注意ください。

後日配信について

後日配信は予定しておりません。ぜひ、会場にお越しください。

A b o u t u s

Hyper Fiveは、ネオカンファレンスの開催を願う有志が立ち上げた一般社団法人で、本会を主催するとともに、全国レベルの自閉症の啓発・人材育成を目的に活動をおこないます。発起人の内のハイパーな5人がハイタッチする姿がモチーフになっています。

発起人は6人だが、それぞれが自分だけはハイパーでないと思っているため“Five”となったとのこと



AUTISM NEO CONFERENCE

M A P / A C C E S S



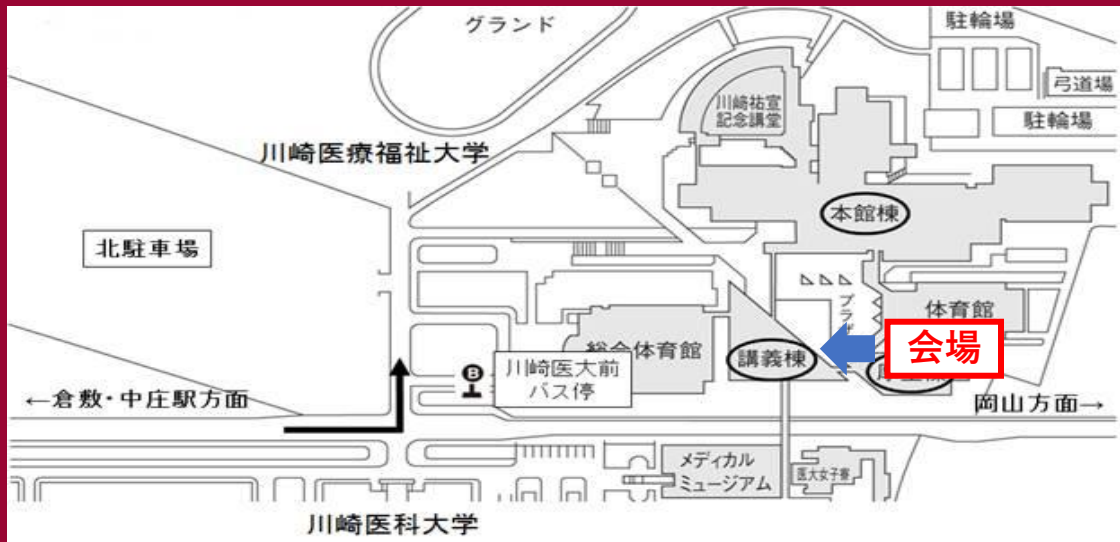
川崎医療福祉大学

〒701-0193

岡山県倉敷市松島288

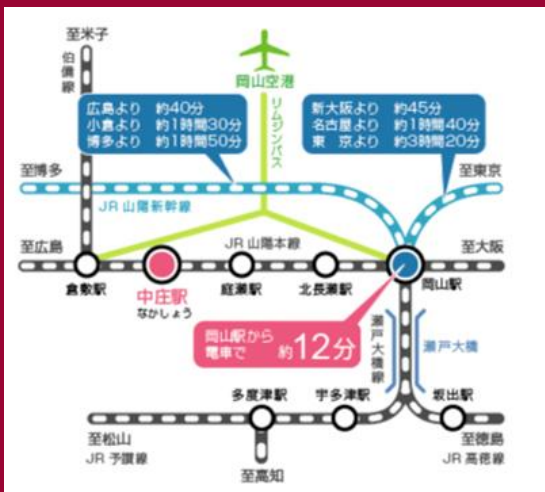
<https://w.kawasaki-m.ac.jp/data/access/>
(川崎医療福祉大学HP - 大学までのアクセス)

川崎医療福祉大学・講義棟



会場までのご案内

JR山陽本線 中庄駅から徒歩20分



「地域に根差した実践」 -Community-Based Practice-

あなたにとって、彼らにとって、
「コミュニティ（地域）」とは何ですか？
みんなで考え、互いに語り合い、
ネオカンという新たなつながりを持ったコミュニティへ
その一人になってみませんか？

支援はもっと身近に、
地域で支え、
地域で暮らす。

C O N T A C T

自閉症ネオカンファレンス2026

(主催 一般社団法人Hyper Five)

特設ホームページ：<http://hyper-five.com>

メールアドレス：hyper.five2024@gmail.com



7月1日10時
受付開始

